



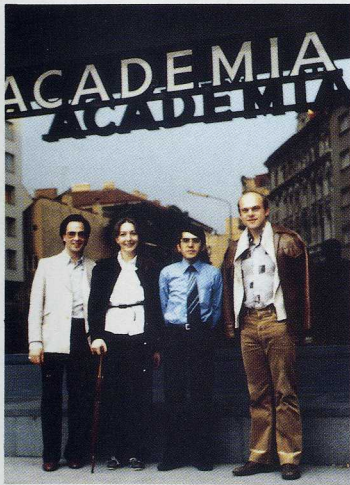
世界の大学シリーズ⑱ ウィーン大学 (オーストリア)

オーストリアのウィーン大学は、ハプスブルク家統治下の1365年に創建された。以来六百年余、ドイツ語圏最古の歴史を有している。かつて旧市内の一角にあった大学本部は、19世紀半ば過ぎ、ウィーンの街の大々的な改造に伴って、旧市内を取り囲む並木道リング通り沿いに建て直された。この通りに沿って建てられた公共建造物はいずれも過去の時代の様式に範を採っており、大学もその一環として学術を象徴するルネサンス様式で建てられている。

この建物の中には、大学本部の諸施設の他に、大講義室をはじめとする大小の教室および図書館が入っている。歴史の重みを感じさせる書物が壁際の書架に並ぶ図書館では、世の喧騒から離れた静謐さが支配している。中庭の回りには回廊が設けられており、物理学のドップラーや精神分析のフロイト等この大学ゆかりの学者の胸像がいくつも並んでおり、その中には時に花輪が捧げられているものもある。

各学部・学科は市の中心部のあちこちに点在している。国立歌劇場そばのドイツ文学科の演習室からは、映画『第三の男』のロケ地ともなったカフェが見下ろせ、旧王宮の一室を改造した演劇学科の教室では、時に観光客が勘違いしてドアを開けることもあった。知の営みが、街のさまざまな活動と共にあり、そして一面ではそれを超えていることをも実感させる大学、ウィーン大学はそういう大学である。

総合科学部人間文化コース・ドイツ語講座 西村雅樹 (にしむら・まさき)



学生寮の前で



ルネサンス様式の回廊と図書館

Rezo montaña 〈山に祈る〉 B1 (Forum gallery)



今を信じて——
私を信じて——
あなたを信じて——
月を仰ぎ山に祈る。

学校教育学部中学校教員養成課程 (美術) 金堀映美

ムクゲ (*Hibiscus syriacus* L.) の茎の横断面 (表紙)

ムクゲは庭木として江戸時代から人々に親しまれ多数の園芸品種がある。花は8~9月5弁の美しい花を開き、右巻と左巻が半々にまざる。芽がのびる頃さし木すれば簡単に活着する。師部繊維が発達し枝は折れにくく強靱である。写真は一年枝の断面でリグニン (木質素) を赤色に染めるため、フロログリシアンアルコール溶液と塩酸液で染色した。中・高校時代に観察したことを懐かしく思い出される人も多いことと思う。

学校教育学部 中西 稔